

第120回 EVENING THEATER

被災地の復旧の槌音を追って・・・

「震災特集～復旧の記録～」

講演 田中泰司 様（金沢工業大学 工学部 環境土木工学科 教授）



1995年1月17日、阪神・淡路大震災。2011年3月11日、東日本大震災。そして2024年1月1日、令和6年能登半島地震・・・

新年初頭期に襲いかかった未曾有の大震災。

第120回節目のイブニングシアターでは、「震災特集～復旧の記録～」と題し、凄絶な被災地で、復旧に立ち向かう土木の姿を記録した作品を上映します。

阪神淡路大震災の激震により被害を受けた鉄道と道路の復旧と、東日本大震災発災後の行政機関等の初動体制をコンパクトにまとめた計3作品を上映予定です。

また上映に先立ち、令和6年能登半島地震発災後、現地に赴き被害状況調査に従事された金沢工業大学工学部教授 田中泰司様から

「令和6年能登半島地震および奥能登豪雨による道路被害と復旧の現状」と題する講演を予定しております。

皆様のご参加をお待ちしております。

2025年1月15日(水) 18:00 開場 18:30 開演 参加無料
土木学会 講堂（JR中央線・地下鉄丸の内線・南北線「四ツ谷」駅下車徒歩5分）

HPにて参加申込み受付

<http://committees.jsce.or.jp/avc/>

土木学会は建設系CPD協議会に加盟しています。イブニングシアターは、CPDプログラムです。

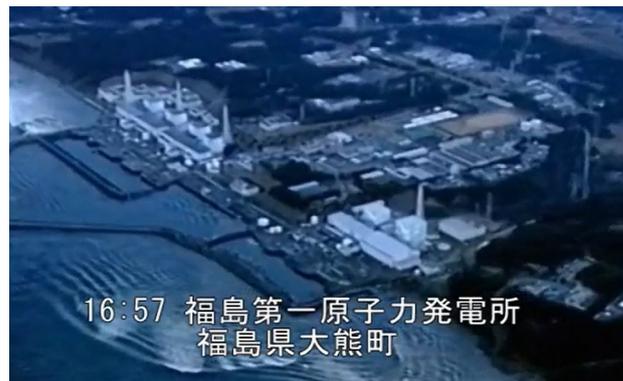
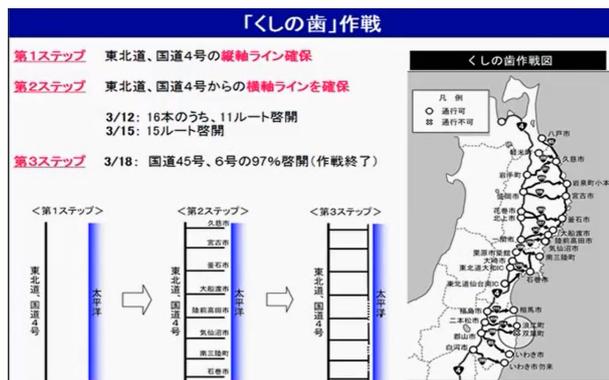
問合せ先：土木学会土木図書館 土木技術映像委員会担当 TEL 03-3355-3596

上映作品

※上映スケジュールはHPをご確認下さい。
会場内での録音、撮影はご遠慮下さい。

「東日本大震災」の初動対応～東北地方整備局の3日間～

企画・制作：国土交通省東北地方整備局
2011年 8分



2011年3月11日14時46分に発生した地震により東北地方・関東地方の広い範囲に被害を受けました。東北地方整備局は発災後すぐに災害対策室を立ち上げました。また、地震発生から37分後に防災ヘリ「みちのく」号を飛ばし被害状況の調査を行いました。空撮映像から対策室は「くしの歯」作戦という初動対応を実施しました。この作品は、東北地方整備局の地震発生から初動対応までの記録です。特に、防災ヘリ「みちのく」号からの空撮映像から当時の被害状況や爆発前の福島第一原子力発電所の状況などが記録されています。

JR六甲道駅復旧工事の記録

企画：西日本旅客鉄道、奥村組等 制作：ウィズ
1995年 14分



1995年1月17日5時46分に発生した阪神・淡路大震災によって兵庫県内の土木施設は、神戸市、西宮市、淡路島北部を中心に大きな被害を受け、被害総額は1兆5千億円に上りました。この作品は被害を受けたJR六甲道駅の復旧工事の記録です。

震災直後の被害状況の調査や解体状況、復旧状況が記録されている。イラストと実際の映像を用いて詳しく復旧工法に関して説明をしているとともに当時の現場の状況を映像を通して実感することができる。

工事状況だけでなく、試運転の状況、開通までを記録しており災害からの復旧の全貌が記録されている貴重な作品です。

阪神・淡路大震災による道路の被災と復旧

企画：建設省近畿地方建設局 制作：道路保全技術センター、日本シネセル
1995年 20分



1995年1月17日5時46分に日本を襲った巨大地震は家屋の損壊約20万棟、死者5502人と戦後最悪の被害と悲しい爪痕を残しました。ライフラインは機能なくなり、地震直後から発生した火の手は何日にもわたって燃え続けました。中部地方も過去幾度となく巨大地震に襲われ、その記録が各地に残されており、南海トラフ巨大地震に直面していると言われる今、私たちは災害から学び教訓とすることが求められています。本作品は、受け継がれる巨大地震の爪痕、先人たちの知恵と教訓をとりあげ、巨大地震への備えの重要性を描いています。単に備えるといったことではなく、例示することで理解が深まる内容となっており、学校教育現場、地方自治体関係者にも見て頂きたい内容となっています。